

研究課題番号	SⅡ-6-1
研究課題名	人為的活動下での水銀制御・管理技術と健康リスク予測に関する研究
研究実施期間	令和2年度～令和4年度
研究機関名	京都大学
研究代表者名	高岡 昌輝

1. 委員の指摘及び提言概要

全球レベルから地域レベルまでの水銀の経年的未来予測動向を調べる野心的な試みである。よく研究が進捗していると考え。テーマ1(2)では、このプロジェクトの最終成果の1つである健康リスクを評価しているが、この段階にたどり着くにはシナリオ設定や全球モデル構築・実行などのスケールの異なる各ステップにエラーが多いと考える。エラーは非線形であるので、各ステップでのエラーを見積もった上で健康リスクを評価する必要がある。健康リスクに関して、地域的な特性(接種魚種の違い等)、経気道曝露(ASGM)等、もう少しきめ細かな整理をすることが望ましい。それにより、地域の特性や曝露の特性に従った成果の利用ができるようになる。水銀およびその廃棄物の適正管理に向けての具体的な環境政策への反映を考えると水銀制御・管理技術の目標、たとえば流出率がどのくらい以下なら妥当なのか、その根拠も研究全体が進捗したあとに示されると良い。

2. 採点結果

評価ランク：A